

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
上山市	上山地区(三本松、長清水、八日町、石崎、矢来、河崎、松山、鶴脛町、新丁、新町、北町、旭町、弁天、四ツ谷、大石蔭、十日町、金生)	平成27年2月20日	令和3年3月26日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	113.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	58.9ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	20.3ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	7.9ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	9.9ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	12.6ha
・米と果樹の複合経営が行われている。 ・市街化区域が多いことから、他地区と比較すると耕地面積や経営体数が少なく、担い手の確保も厳しい状況にある。 ・高齢化に伴う経営面積の縮小や、離農による不作付地が増加している。 ・後継者が非常に少ない。 ・金生の農業者の多くは地区外に出作しており、逆に金生の水田は中川や山形市の農業者が入作している。	

2 対象地区の課題

・農地が少なく分散しており、地区外の入作者が多い状況で、どのように集約を図っていくか。 ・他地区と比較して、現在の担い手が少ない状況で、どのように担い手を確保・育成していくか。 ・有害鳥獣被害に対して、どのような対策を講じていくか。
--

3 対象地区内における中心経営体への農地集約化に関する方針(必要な取組に関する方針)

(1)農地の活用・集約化 ・水田については、個人での集約には限界があるため、法人化を含めた集約方法を検討するとともに、隣接地区と広域的に連携しながら、担い手に少しずつ農地集約を進めていく。 (2)担い手の確保 ・後継者や現在の担い手は少ないものの、農地の借地意向の情報提供等を含め地域ぐるみで担い手を支援・育成していく。 (3)有害鳥獣被害対策 ・地域・行政・関係団体が連携しながら、地域ぐるみの取組を進めていく。
--